



SAP Ariba 

機能の概要

カスタムフォーム API でマスタデータ検索キーをエクスポートする機能

Arundhati Kumar、SAP Ariba
一般提供予定: 2019 年 2 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

実装の難易度  ロータッチ/容易
関連する地域  グローバル

新機能: カスタムフォーム API でマスタデータ検索キーをエクスポートする機能

お客様の課題

カスタムフォーム内で表示されるマスタデータフィールドに対する一意の ID が、カスタムフォーム API で表示されません。現時点では、API を使用すると、会社コード、コストセンタ、代理などのデータエレメントに対し、名前/説明は返されますが、一意の ID は返されません。

SAP Ariba で この課題に対応

カスタムフォーム API の新しいバージョン (v2) では、外部システムへの送信やレポートの作成のために、ほかのマスタデータと一緒にマスタ検索キーをエクスポートする方法が用意されています。検索キーの例としては、ユーザーに対する一意の名前やパスワードアダプタ、商品分類コードに対するドメインや一意の名前などがあります。

実現される主なメリット

名前や説明に加え、マスタデータ検索キーをエクスポートできます。エクスポートした検索キーは、後続のプロセスやレポートのデータで使用することができます。それぞれのマスタデータエレメントについて外部でカスタムフォームのデータでレポートを作成したり、Ariba システム以外の二次的なプロセスでカスタムフォームデータを使用したりすることができます。

ソリューション領域

SAP Ariba Buying and Invoicing
SAP Ariba Buying
SAP Ariba Buying and Invoicing (Guided Buying 機能あり)
SAP Ariba Buying (Guided Buying 機能あり)
SAP Ariba Invoice Management

実装に関する情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的にオンになっており、即時に使用できます。

前提条件および制限事項

前提条件:
SAP Ariba Developer Portal の使用には登録が必要です。

制限: なし